

芙蓉



社会福祉法人 芙蓉会

<https://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL (0545) 55-1118 FAX (0545) 55-1119

児童養護施設	ひまわり園	☎0545-52-0402	通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎0545-55-1800
地域小規模児童養護施設	ひろみ	☎0545-22-1281	通所介護	ふようデイサービスセンター	☎0545-52-1397
乳児院	恩賜記念みどり園	☎0545-53-5665	居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎0545-52-5500
企業主導型保育施設	さくら保育園	☎0545-55-1118	地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	☎0545-30-8324
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎0545-55-1800	看護小規模多機能	みぎわの里	☎0545-30-7952
ショートステイ	みぎわ園	☎0545-55-1877			



日本文化の進歩、 発展の一端を担う社会福祉事業

社会福祉法人芙蓉会 評議員 濱田隆彦

日本国の歴史は、古事記では、神武天皇が即位した紀元前660年1月1日を、建国日としており、約2700年、世界最古の国とも言われておりますが、その永年の中で、様々な歴史、事象を踏まえて築かれてきた日本文化(日本人の生活様式)の中で、人と人の交流に於ける「気遣い、思い遣り」の在り方が、変わって来ているのでは、と推察しております。

戦後1955年~73年の高度経済成長を経て、その後のバブル経済1980年~1990年があり、日本銀行の金融引き締め政策により、泡が弾けて、バブル経済は崩壊し、2010年頃は世界第二位であったGDPも、2023年には四位となっております。

その間、日本国民の日常環境も大きく変わり、地方から都市部への人々の移動、世帯も大家族から、単身世帯が増え、その割合は、2020年時点では全世帯の38%となり、1980年時点の20%と比較して、二倍近く増加しているとの事です。所謂、

核家族化が進んでおります。この様な経済環境、生活環境の大きな変化の中で、生活文化も変遷し、昔の日常よりも、人に対する気遣い、思い遣りが、減って来ているのでは、と感じます。自分の立場、自分の思いからだけでなく、相手の立場、相手の思いも考慮した上での対応が、減ってきているのでは、と感じます。昨今は、何でもAIに聞けば解るとの生活環境の変化が、これに拍車をかけているのでは、と思います。

この様な時代に、社会福祉事業は、事業対象が人(高齢者、未成年者、乳幼児)であり、事業の根幹に、人に対する気遣い、思い遣りが、常に存在していると、拝察いたしております。先に申し上げた様に、日本の文化の中で、後退しているのでは、と思われる分野に於いて、創立121年の長きにわたり、その進歩、発展に、日夜ご尽力されて来られた芙蓉会の益々の発展を、心から祈念致しております。

★みぎわショートステイ★

運動会

赤色チームと黄色チームに分かれて行いました。選手宣誓から始まり、種目はメディシングボール、輪っか送り、ピンポン玉送り、玉入れを行いました。皆様一生懸命に頑張っていました。



富士川楽座外出

天気の良い日に昼食やおやつを食べに外出しました。天丼や海鮮丼など皆様好きな物を召し上がりました。おやつにはソフトクリームを食べて、お土産も買いました。皆様とても喜ばれており、素敵な笑顔を見ることができました。



日常風景

天気の良い日にベランダで昼食を召し上がりました。このように気分転換も兼ねて時々、外でおやつや食事会をしています。



★ふようデイサービスセンター★

～運動会2024～

毎年恒例の『ふようデイ大運動会』パン食い競走、玉入れ、物運びゲームを行い盛り上がりました。今年は白組が勝利しました。



～和菓子作り～

菓子処たかぎ様のご協力で、和菓子作りを行いました。皆さま上手に作成し、とてもいい笑顔に溢れていて貴重な体験をし、楽しい時間を過ごせました。



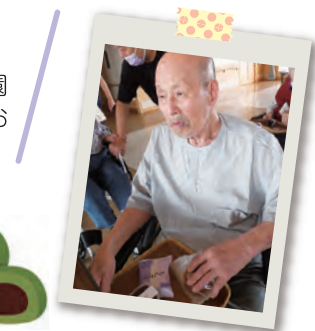
～セウタ～

今年はふよう劇団による劇を行いました。劇の主演彦星、乙姫役を利用者が行い大盛り上がりでした。

★デイサービスセンターみぎわ園★

田子の月 お買い物ツアー

田子の月さんがみぎわ園に来てくれ、みんなでお買い物を楽しめました。



かき氷作り

いちご、ブルーハワイ、ブルーベリーの3種類から好きな味を選び「冷たくて美味しい!」と喜ばれていました。



★みぎわの里★



風鈴 祭り



たくさんの風鈴の
音色は、夏風に美しく
奏でられ
癒されました。



今年も白熱の戦いが
繰り広げられました。
喜びあり。悔し涙あり。
一致団結して戦った後は
特選弁当をお腹いっぱい
召し上がりました。



納涼祭



射的にヨーヨー釣り等。
そして屋台を模しての食食。
童心に戻って
心も体もリフレッシュされました。



★みぎわ園★

スイカ割り

8月 まさに夏本番！
上手に割って美味しくいただき、笑顔が絶えませんでした。



割れたかな？

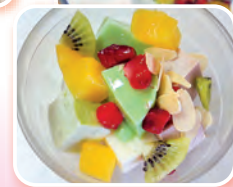


ベトナムのデザート作り

外国人技能実習生の母国であるベトナムのデザート「チェーコッパ」作りを行いました。
フルーツを切り、盛り付けたり楽しく行えました。
見た目も味も美味しくできあがりました。



上手でしょ～



夏休み



今年の夏休みは園でも、お部屋でも、園外でもたくさんイベントがあり、子どもたちは楽しみを胸に夏休みを過ごしていました。また、イベントのために学習時間も頑張っていました。



かえで

かえでは毎年恒例の海と川や、今年初めての水族館と公園に行きました。魚をたくさん見て、触った夏休みでした。



流しそうめんをしました。そうめん・野菜・お肉等流して、楽しく食べることが出来ました。流しそうめんの後には、水遊びや皆でゲームをして、楽しく過ごすことが出来ました。



大地



さくら

夏休みには、幼児さんから小学生までの子どもたちは、マリンスプールや田宿川へ行って泳ぎ、行事のない天気の良い日は蝉取りに夢中になっている子もいました。とても暑い夏でしたが、体調を崩すことなく元気に過ごすことができました。

とても暑い夏休みでしたが、たくさん外で遊んでいました。特にプールで遊ぶのが好きのため、幼稚園で使っているプールをお借りして何度か水遊びが出来る機会を作りました。水しぶきを上げて遊んでいる子どもたちは本当に楽しそうでした。マリンスプールにも一度行けたので、暑さを少しでも忘れることが出来たかなと思います。



もみの木



けやき

夏休みに入り 2泊3日で園内にあるひまわり幼稚園を借りてお泊り会をしました。みんなでBBQをしたり、スイカ割をしたり、こどもの国、富士川の花火大会にも行きました。夏にしたいことを詰め込んだ楽しい3日間を過ごすことが出来ました。



夏休みは、子どもたちそれぞれの希望を聞き、サファリパーク、映画、カラオケ、川遊び等たくさんの行事に出かけました。夏休み終盤には、地域のBBQに参加させていただきました。新型コロナウイルスの関係で子どもたちの参加は5年ぶりとなりました。美味しいご飯をたくさん食べることはもちろん、地域の方々とお話をしたり花火をしたりと様々な楽しむ様子が見られました。夏の思い出がたくさんできました。



★みどり園★



おでかけ

デニーズにお昼ご飯を食べに行きました!みんなでお子さまランチとドリンクバー、最後にはデザートも注文し、お腹いっぱい食べました♪初めての場所にわくわくし、色々な物に興味津々の様子でした。帰りに三日市浅間神社で、たくさんの風鈴の下を潜ってお参りをし、鯉にエサをあげることができました!



おいし~



いっぱい食べるね!



七夕

七夕にちなんで織り姫と彦星を作りました。自分で織り姫様と彦星様の顔に目や鼻のシールを貼ったり、洋服に絵の具のスポンジスタンプで色を付けたりして完成させました。その後は、お星さまを画用紙に貼って天の川を完成させました。たくさん貼れて楽しかったね!

デザートは、かき氷を食べました。自分で好きなシロップやフルーツを選んで美味しそうに食べていました。また食べようね!



あまーい



キラキラ~

夏祭り

子ども達は甚平に着替え、夏祭りの準備は万端!手形で花火を作り、テラスではスイカ割りに挑戦しました。昼食は、ホットプレートで焼きおにぎりやお好み焼きを焼きました!焼きおにぎりは自分で焼き、子ども達はとても真剣な表情で頑張っていました。他にもポテトやとうもろこしなどたくさん食べていました。



われた~



きれいだね~



★さくら保育園★

敬老の日

今年は園で育ったオクラをスタンプにして、ハガキを装飾しました。子どもたちの足形も一緒に載せて、大きくなっている姿を感じてもらえると嬉しいです。



あしがたとるよ~



じょうずにできた

お団子づくり

十五夜にあわせて、子どもたちとオヤツのお団子づくりをしました。真剣な表情で取り組んでくれました。



おだんごできたよ!



防災の日

9月1日にひまわり園では、避難訓練を行った後に子ども達と災害時用のテントを建て、防災食を食べました。地震を想定した訓練で本震から余震までの間に避難をしました。毎月避難訓練を行っているだけあって子ども達もスムーズに避難できました。

避難訓練の後に災害時用のテントを建てる練習を行いました。苦戦しながらも職員と一緒に組み立てていました。

昼食は屋外でアルファ化米とレトルトカレーを作り、デザートにフルーツ缶を食べました。子ども達もお手伝いをしてくれ、実際の災害時にどのようにして食事が提供されるのかを体験できました。

実際に災害が起きた際にもスムーズな対応が出来るように、職員間で意識を強めていきたいと感じました。



防災情報

昨今では南海トラフ巨大地震の危険性があるとして周囲に警戒が呼びかけられています。ここでは、100円ショップ等安価で手軽に用意できる物を紹介します。個人や家庭によって必要な物やその量は異なりますので、あくまで参考になればと思います。



『100円ショップ等で揃う防災用品(一例)』

- ・携帯トイレ・水でふやかす紙タオル・紙石鹸・ティッシュ・除菌シート(スプレー)・絆創膏・懐中電灯・ジップ付きの袋・ホイッスル・メモ帳・ペン(・ポーチ・大切な人の連絡先を書いた紙・保険証や免許証のコピー)

その他、備蓄用であればカセットコンロとガス、水や食料品などは最低でも1人3日分(水は1日3Lが目安)。持ち出すならば水は500mLを2本、簡単に食べられる物(缶詰や甘い物等)。明かりや暖を取れるような物や、衛生用品も入れておくとうれしいでしょう。防災士の方がおすすめするセットなどを中心に必要な物を揃えらるとうれしいと思います。

※富士市の防災マップ各種が掲載されているページのQRコード



ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

- 新井英理子
- 岩間和作
- 伊藤典男
- イオングループ労働組合連合会
マックスバリュ東海MYユニオン
- 飯嶋隼人
- 上野美弥
- (株)北里コーポレーション
- 島村楽器(株)
- (株)シンエイ
- 静岡県立吉原高等学校 JRC部
- (株)自習ノート
- (合同)そらとふじ
- 高田治也
- 高橋ハヤ
- 大雲院
- (株)ハローG
- 美影館
- 深澤賀一
- 芙蓉会OB一同
- 丸山商事 丸山正
- 明治ホールディングス(株)
- 門司一徹
- (株)live
- (株)美管理Kie
- 花王(株)
- 他 匿名23名

(R6.7.1~9.30まで)

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費をご送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 個人会費 **1口 1,000円** 会社 団体会員 **1口 3,000円**

振込先(郵便局振替口座)

・口座番号 **00880-0-2423** ・口座名称 **芙蓉会后援会**

何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受けられる際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 **ゆうちょ銀行**
店名 **〇八九店**
預金種目 **当座**
口座番号 **0002423**
口座名義 **フヨウカイクウエンカイ**

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 **静岡銀行 吉原北支店**
預金種目 **普通預金**
口座番号 **0817169**
口座名義 **社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ ナイトウヨシヒコ**

首安箱

施設名	時期	内容	対応
みぎわ園	9月	職員の言葉や口調を改めて欲しい。 ご家族からの差入れが同一名の入居者に渡っていた。間違いの無い様に接して欲しい。	謝罪した後、改めて言葉の使い方、接し方について改善指導致しました。 差入れ受け取り表を作成し、ユニットと事務所でダブルチェック出来る体制に変更しました。
みどり園	9月	外泊から帰園した保護者への言葉かけが不適切だったと児童相談所から指摘を受けました。	謝罪をし、職員を指導しました。

編集後記

いつも「芙蓉」をお読みいただきありがとうございます。

芙蓉会では昭和25年に「ボーイスカウト富士第一団」が設立され、今日までスカウト活動を続けております。ボーイスカウトには「そなえよつねに」というモットー(標語)があり指導者とスカウトの行動規範になっています。野外でキャンプをしたりする場合、天候が急変したり、道に迷ったり、慣れないことで体調を崩したりと想定外のことが起こりますが、そのような時でも落ち着いて行動できるように、普段からさまざまな訓練や準備をしておくという意味であります。今号では防災についての記事を載せましたが、来たる災害に備え、今一度ボーイスカウトの精神を大切に、実践出来るようにしていきたいと思っております。